

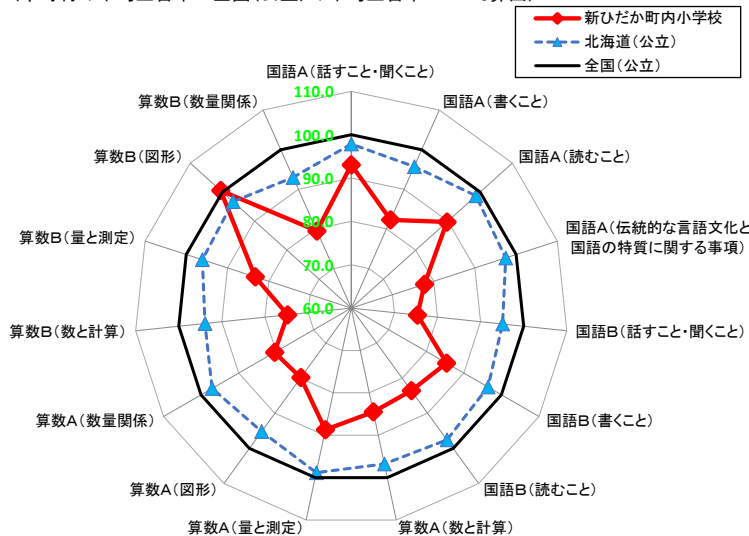
■新ひだか町内小学校の状況及び学力向上策(学校数:6、児童数:167名)

※後日実施校を含む

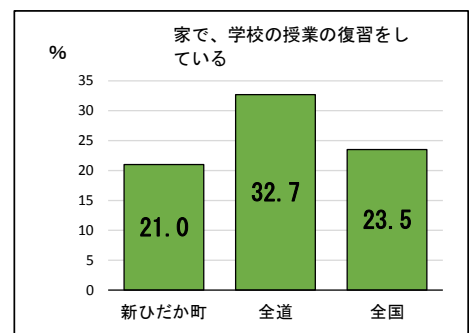
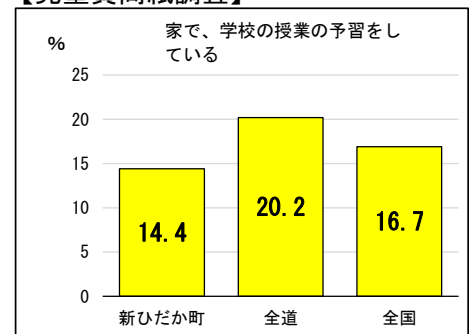
【教科全体の状況】

教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの

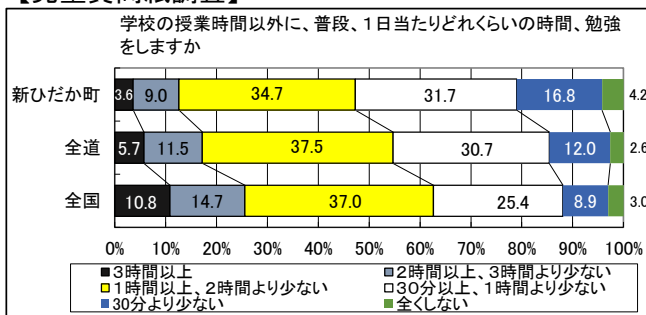
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



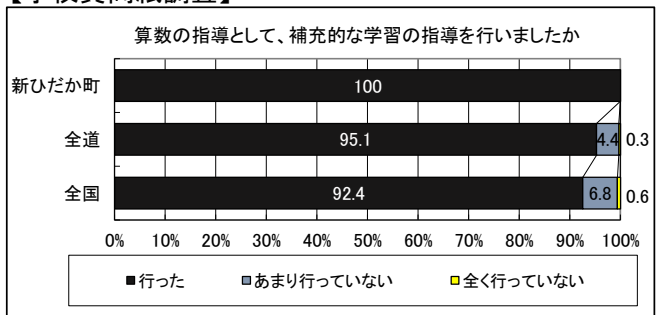
【児童質問紙調査】



【児童質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【分析】

教科	○ 国語では、すべての領域で、全国を下回っている。 ○ 算数Bでは、「図形」で、全国を上回っている。	○ 国語、算数ともに、一部の領域を除き、基礎的・基本的な知識・技能の定着が不十分であり、それらを活用する力にも大きな課題が見られる。指導に当たっては、思考力・判断力・表現力等を高めるための手立てを一層工夫する必要がある。
児童質問紙	○ 「家で学校の予習・復習をしている」と回答した児童の割合が、全国及び全道を下回っている。 ○ 「学校の授業時間以外に、普段、1日当たり1時間以上勉強している」と回答した児童の割合が、50%であり、全国及び全道を下回っている。	○ 算数の指導として、補充的な学習の指導を積極的に行ったことにより、算数Bの「図形」において、全国平均を上回ったと考えられる。 ○ 依然として家庭学習の時間を十分に確保できていない傾向が続いており、学力向上に大きな成果が見られない要因であると考えられる。
学校質問紙	○ すべての学校が、「算数の指導として、補充的な学習を行った」と回答している。	

【新ひだか町の学力向上策】

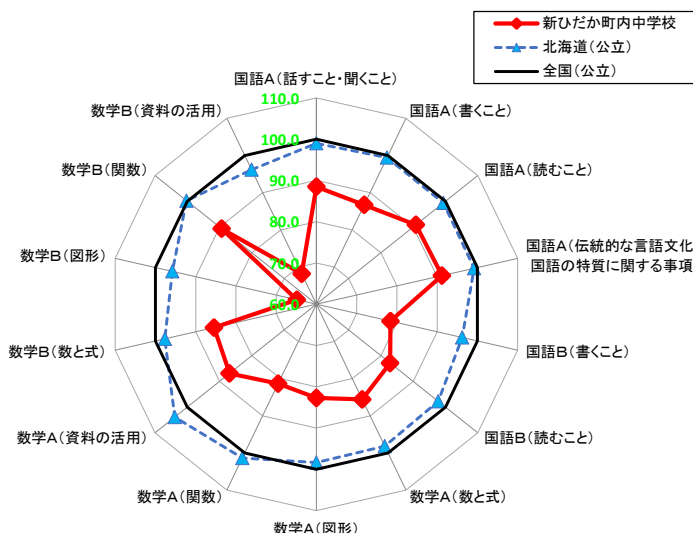
- ◎ 全国学力・学習状況調査結果を踏まえた家庭学習習慣の定着
- ◎ 主体的・対話的な学びを実現するための問題解決的な学習過程を位置付けた授業改善
- ◎ 1時間の授業の課題やねらいの明確化と定着のための「まとめ」の徹底
- ◎ 全国学力・学習状況調査結果及び標準学力テスト(CRT)の分析による小中の連携ときめ細かな指導の徹底
- ◎ 次期学習指導要領を見据えた教育課程の編成と実施

■新ひだか町内中学校の状況及び学力向上策(学校数:3、生徒数:194名)

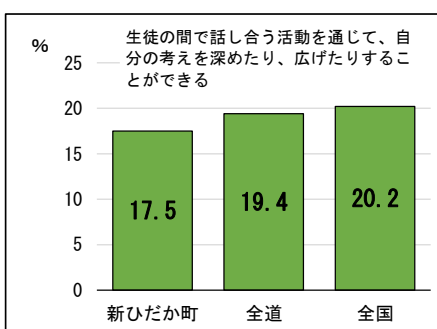
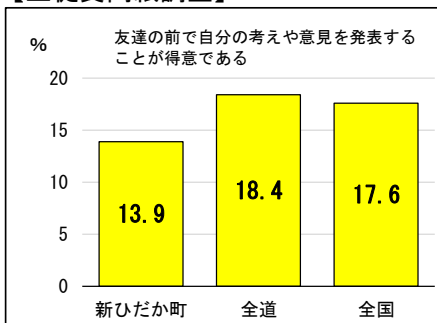
【教科全体の状況】

教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの

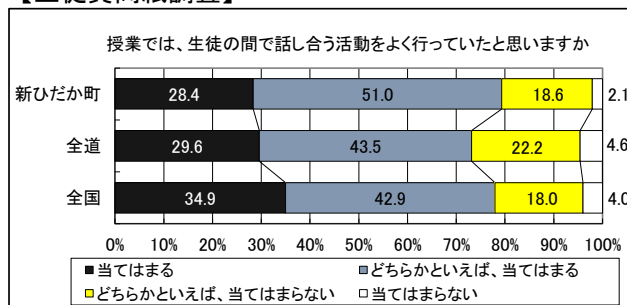
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



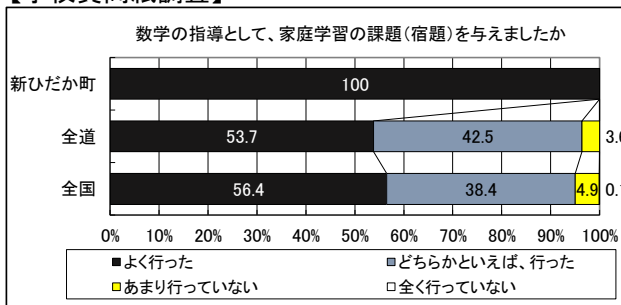
【生徒質問紙調査】



【生徒質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【分析】

教科	○ 国語では、すべての領域で全国を下回っている。 ○ 数学では、すべての領域で全国を下回っている。	○ 国語、数学ともに、一部の領域を除き、基礎的・基本的な知識・技能の定着が不十分であり、それらを活用する力にも大きな課題が見られる。授業において、話し合う活動を積極的に取り入れるなど、思考力・判断力・表現力等を高めるための手立てを一層工夫する必要がある。
生徒質問紙	○ 「授業では、生徒との間で話し合う活動をよく行っていると思う」「友達の前で自分の考えなどを発表することが得意である」「生徒の間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができる」と回答した生徒の割合が、全国及び全道を下回っている。	○ 数学の指導として、家庭学習の課題(宿題)を積極的に与えているが、学力の向上につながっていない。家庭学習を自ら進んで行うことに課題が見られ、学力向上に成果が見られない要因であると考え。
学校質問紙	○ すべての学校が、「数学の指導として、家庭学習の課題(宿題)を与えた」と回答している。	

【新ひだか町の学力向上策】

- ◎ 全国学力・学習状況調査結果を踏まえた家庭学習習慣の定着
- ◎ 主体的・対話的な学びを実現するための問題解決的な学習過程を位置付けた授業改善
- ◎ 1時間の授業の課題やねらいの明確化と定着のための「まとめ」の徹底
- ◎ 全国学力・学習状況調査結果及び標準学力テスト(CRT)の分析による小中の連携ときめ細かな指導の徹底
- ◎ 次期学習指導要領を見据えた教育課程の編成と実施